



区内飲食店に荒川区がコロナ関連の指導・助言をスタート

まん延防止等重点措置が始まりましたが、その後も感染は拡大傾向にあります。区は区内飲食店への指導、助言を行うと、4月15日に発表しました。

区独自の対策

(1) 食品衛生協会加入店(約 350)に対する情報提供

①飲食店におけるコロナ対策の留意点
②飲食店における感染予防対策費用補助の案内の情報提供を行い、感染防止対策の徹底を図ります。

(2) 食品衛生協会加入店以外(約 1,700)に対する情報提供:(1)と同様の情報提供を行います。

(3) 実地指導時における指導・助言の実施内容

・保健所の食品衛生監視員が日々実施している新規許可、更新許可等の際の店舗への実地指導時に、①飲食店におけるコロナ対策の留意点、②飲食店における感染予防対策

費用補助の案内に関する指導・助言を行います。

・産業経済部と連携し、訪問対応やコーディネータ派遣等、必要な支援を行います。

・区役所 6 階の中小企業等相談窓口で専門スタッフがアドバイスします。



※ 東京都は、レインボーステッカー交付店を対象に、都職員等が飲食店各店舗を個別訪問して見回る「徹底点検 TOKYO サポートプロジェクト」を順次実施することとしています。都から具体的な内容の提示があり次第、区も協力する予定です。



前号、コロナ対策リーダー養成の記事でも述べましたが、区民も業者の皆さんも頑張っています。これ以上、何を頑張ればいいのかと、不安の声が広がっています。情報提供や指導・助言もよいと思いますが、ワクチンが行き届かない今、定期的なPCR検査、積極的なスクリーニング検査、更なる補償が必要なのではないでしょうか。

【問合せ】生活衛生課 電話番号:03-3802-3111(内線:437)

区施設夜間区分の貸室予約は休止(5月7日までの予定) 感染拡大所の状況が続いていることから、まん延防止等重点措置の適用期間中は、区の施設貸室の夜間区分の新規予約の受付は休止されることになりました。すでに利用申請している団体などにも利用自粛の協力依頼を求めました。



区立小・中学校の進学状況 学校選択(抽選)の実施状況

2021年度新入学児童・生徒	小学校	中学校
区内全体	1574	1148
区外公立学校への転出	60	28
区外公立学校への転入	4	5
通学区域外就学者数	254(15%)	242(15.2%)
抽選実施校	5校 尾久、峡田、二 峡、四峡、一日	2校 八幡中、四中
国立・私立への就学	22	402

2021年度新入生の全区内入学者数は小学校1,574人、中学校1,148人です。新入生も学校での生活に、徐々に慣れてきたころではないでしょうか。

学校選択(通学区域外就学者)は前年比小学校-1人、中学校は-15人となりました。私立や国公立に進学された方は前年比で小学校-1人、中学校-22人でした。区内全体の児童数(小学校24校)は9,022人、生徒数(中学校10校)は3,349人となっています。

今後、35人学級が段階的にスタートする予定です。区は今後の想定を始めたようです。

まずは、教室と教員の確保が必要です。子どもたちの立場に立った、安心安全な学校運営を求めます。

コロナワクチン 荒川区情報

区内医療従事者のワクチン接種:女子医大はほぼ終了、それ以外の医療機関では現在進行中です。

臨時会場(3会場・土日のみ)のスケジュール:5月29日(土)七峡小学校、5月30日(日)尾久八幡中学校、6月5日(土)、尾久ふれあい館...。その後も七峡小⇒八幡中⇒尾久ふれあい館の順で設けられます。1日につき270回接種可能。

定例☆法律相談
何でも・お気軽にどうぞ
5月21日(金) 18時半~20時
北村あや子事務所

発行: 日本共産党議員団 TEL: 3802-4627 FAX: 3806-9246

e-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久2-4-8 メゾン・ド・ポラリス1階

TEL&FAX: 3894-6668



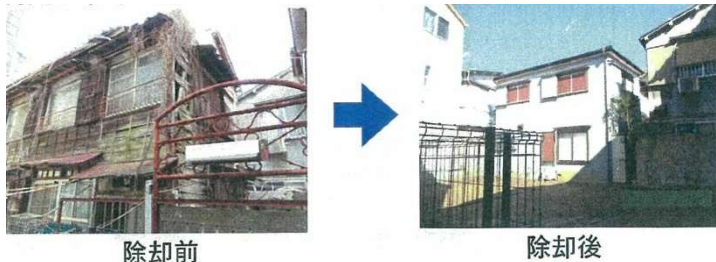
空家対策、危険なブロック塀対策は

空家対策事業

老朽空家除却助成: 147 棟

危険老朽化空家除却助成: 10 棟

特定空家など対策審査会への諮問・答申(8回)を経て、特定空家などに指定し、法に基づく指導・助言を行い、3棟を除却へ促すことができました。



2015年度に空家調査をした後に空家になった住宅もあるのではないのでしょうか。委員会では今後の調査に前向きな答弁がありました。

危険なブロック塀等対策事業

前回の調査から11年が経過し、2020年再度調査を行いました。危険なブロック塀は減ってきているものの、まだまだ多く残されています。

区ではブロック塀等を撤去する工事に要した費用の3分の2の額を助成しています(1メートル当り16,000円を上限)。助成事業を拡大して推進していきたいものです。

【問合せ】電話番号: 03-3802-3111

空家対策: 防災街づくり係 内線: 2827、2829

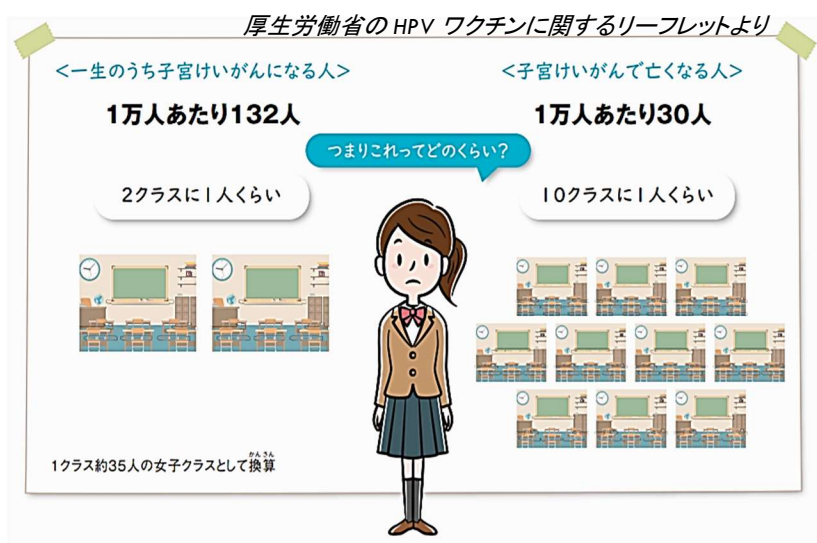
ブロック塀: 住宅係 内線: 2824、2826

子宮けいがんとHPVワクチンの状況

昨年10月30日、中学校1年生から高校1年生相当の年齢の女性と保護者あてにHPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンに関する厚生労働省発行リーフレットが届きました。「公費によって接種できるワクチンの一つとして、本ワクチンがあること等必要な情報を対象者に知っていただく」旨の厚生労働省通知に呼応して区保健所が発送したものです。

公費対象は小学校6年～高校1年(相当)の女性です。対象年齢を過ぎた場合は自費で接種できますが、費用は3回で5万円前後と高額です。種類と医療機関により金額は異なります。

なお、現在も積極的勧奨を一時中止としているワクチンです。深刻な副反応が報告され、全国で訴訟も起きています。ワクチン承認



出典 国立がん研究センター がん情報サービス 2015年全国推計値に基づく累積罹患リスク、2017年累積死亡リスクより

HPVワクチンのリスク

HPVワクチン接種後には、多くの方に、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。まれですが、重い症状(重いアレルギー症状、神経系の症状)※1が起こることがあります。



発生頻度	ワクチン: サーバリックス®	ワクチン: ガーダシル®
50%以上	疼痛・発赤・腫脹・疲労感	疼痛
10~50%未満	掻痒・腹痛・筋痛・関節痛・頭痛など	腫脹・紅斑
1~10%未満	じんましん、めまい、発熱など	掻痒・出血・不快感・頭痛・発熱
1%未満	注射部位の知覚異常、感覚鈍麻、全身の脱力	硬結、四肢痛、筋骨格硬直、腹痛・下痢
頻度不明	四肢痛、失神、リンパ節症など	疲労・倦怠感、失神、筋痛・関節痛、嘔吐など

サーバリックス®添付文書(第12版)、ガーダシル®添付文書(第5版)より改編

後すぐに公費助成対象となったことも当時大きな問題となりました。

ワクチンを受けたとしても、20歳を過ぎたら2年に1度の子宮頸がん検診をお勧めしています。

【問合せ】荒川区保健所 電話: 03-3802-3111

HPV ワクチン: 健康推進係 内線 433

子宮頸がん検診: 成人健診係 内線 416

HPV ワクチン薬害訴訟の日本での経緯

2009年 サーバリックス(グラクソスミスクライン社)承認

2010年 公費助成対象

2011年 ガーダシル(MSD社)承認

2013年4月 中学生・高校生に対する定期接種開始、深刻な副反応報告が相次ぐ

2013年6月 厚労省、接種の積極的な勧奨を一時中止

2016年7月 副反応被害者が国と製薬企業に対し損害賠償請求訴訟を、東京・名古屋・大阪・福岡の各地方裁判所に一斉提訴

2021年3月29日 積極的勧奨再開を目指す自民党議員連盟が他団体とともに厚労大臣に要請書を提出

2021年4月15日 薬害訴訟全国原告団と弁護団は積極的勧奨を再開しないよう、厚労大臣・自民議連に要請書を提出



荒川区の状況	2020年	2019年	2018年
HPVワクチン接種(公費・3回合計)	332	85	41
子宮がん検診	未集計	7665	8069

*2020年ワクチン件数は2021年1月までの集計